



甲賀市

広報

こうか

2026

5

令和8年5月1日発行
No.416

特集

私たちが考える

甲賀のミライ

—わがもの会議—



甲賀市公式LINEアカウント

イベント情報や防災情報など生活に役立つ情報をお届けします。

友達登録してね!



広報こうかは『マイ広報紙』でも発信中!

26言語に対応し、キーワード検索なども便利なサイト「マイ広報紙」からも閲覧できます。

詳しくはこちら





特集

私たちが考える

甲賀のミライ

— わかもの会議 —



甲賀市のこれからをつくるのは、いまを生きる若者たちです。
「わかもの会議」では、若者・子育て世代に選ばれるまちをめざし、リアルな声やアイデアが交わされています。
今回の特集では、「わかもの会議」の取り組みと、参加する若者たちの声を紹介します。

● 問合せ：企画調整課 企画調整係 (Tel) 69-2106 (Fax) 63-4554

「わかもの会議」とは？

第2次甲賀市総合計画第3期基本計画の重点目標『若者・子育て世代に選ばれるまち』実現のために、市が取り組んでいる施策に対して、若者ならではの視点からアイデアや意見を出し合う場として昨年7月から設けられた会議です。



STEP①

わかもの会議の
委員になる!

市長から任命を受け、
活動がスタート!

STEP②

市が取り組む事業について
みんなで話し合う!

市が取り組む事業について、
担当部署の職員と意見交換!

STEP③

市政に意見を届ける!

会議で出た意見をまとめ、
若者の声を市政に届けます!

「わかもの会議」の委員に聞いてみた！



「わかもの会議」のココが面白い！

何気ない発言が
政策につながる！

あらき しずか
荒木 静遥委員



何気ない発言がきちんと届くのが、この会議の面白さだと感じました。市職員の方によるファシリテーションの中で、「率直に」と声をかけてくださったので、自然と本音で話すことができましたし、意見も丁寧にまとめられ、市政や議会に届けられる仕組みが印象的でした。実際に市長とも率直に意見交換ができ、距離の近さを実感しました！

まちの将来について
考えることができる！

きむら りょうた
木村 涼太委員



現在、大学生でまちづくりについて学んでいます。この会議に参加して感じたことは、私たちの声が政策に反映されている、まちづくりに参加しているという実感です。自分のアイデアがまちの将来のピースになるかもしれないというワクワク感は、机上での学習では得られないこの会議ならではの面白さではないかと思います！

同世代の仲間と
つながることができる！

なかむら しゅんすけ
中村 駿介委員



4年間バックパッカーとして海外を巡り、帰国後に何か新しいことに挑戦したいと思っていた時にこの会議のことを知り参加しました。この会議の魅力は、声を拾い上げてくれることと同世代の仲間とつながれることです。この会議で出会った仲間と一緒に甲賀市をもっと良いまちにできるように、いろんなことに挑戦していきたいです！

まちの見え方が
変わるきっかけに！

つじ ゆりな
辻 結梨奈委員



この会議に参加する前までは気付いていなかったまちの課題や困りごとについて、市職員の方の説明や他の委員とのディスカッションを通して理解が深まり、まちの見え方が大きく変わるきっかけになりました。今後はその気付きを大切にしながら、より良いまちづくりに関わるような活動をしていきたいです！

check!

「わかもの会議」の様子をのぞいてみよう！

今回紹介した4人の他にも、まだまだ魅力的なメンバーがたくさんいます！
Instagramでは、「わかもの会議」の様子などを発信しています！
ぜひ、チェックしてみてください。



@koka_wakamonokaigi



で話し合ってみた!

課題 3

甲賀市で働く人を増やすために ～企業の人財確保事業～

- 甲賀市の基幹産業である製造業は、**理系離れ**や**ものづくりへの関心の低下**で人手が不足している。
- 市民への就職支援や意識を変える活動（奨学金返済支援や工場見学など）に取り組んでいるが、事業の続け方や運営に課題がある。



私たちが考えた
アイデア!

- 💡 会社の名前だけでなく、そこで働く先輩たちの「**やりがい**」や「**日常**」を、授業や動画、パンフレットを通して**わかりやすく伝える!**
- 💡 工場の中を見学したり、プロの技を見たり体験したりできるイベントを積極的に開催して、**ものづくりの現場を身近に感じられる機会を広げる!**



三好 のぞみ 委員

課題 4

選挙に興味を持つ若者を増やすために ～わかものの投票率向上事業～

- 今年度から市内の投票区を95から49に再編するが、投票率を維持・向上させる取り組みが必要。
- 若者の投票率が低いことから、**情報発信**や**ライフスタイルに合った投票機会の確保**、**環境の改善**が必要。



私たちが考えた
アイデア!

- 💡 **大型商業施設での投票所**や**移動投票所**を設置することで、投票しやすい環境を整える!
- 💡 **みんなが欲しくなるデザイン**の投票済証を作成し、話題性を作ることで若者の選挙への関心を高めていく!



若者の「**やってみたい!**」を応援! 若者チャレンジサポート補助金

若者のみなさんが企画する「**やってみたいこと**」を市がサポートします。
例えば… ○○大会を開きたい! 自分のつくったものを展示したい! など

補助額 上限10万円(補助対象経費の10/10)

対象者 個人・グループ(市内に在住・在勤・在学いずれかに該当)

● 問合せ: まちづくり活動センター「まる一む」 Tel) 70-2595 Fax) 70-6046

申請
受付中!

詳しくは
こちら



木村 太郎 委員

市が考えている
4つの課題

私たちが本気

課題 1

若者にずっと住み続けてもらうために
～若者定住促進事業～

- 若者の市外流出や未婚率の増加&出生数の減少により、人口減少が進んでいる。
- 結婚相談や婚活イベントなど、若者の交流の場を設けて出会いを促しているが、特に女性の参加が伸び悩んでいる。



うーん…

私たちが考えた
アイデア!

だいたいどう こうき
大洞 幸生 委員



婚活イベント参加者の心理的ハードルが下がるように趣味、ボランティアなど、各回テーマを設け、**ライトな出会いの場を定期的に開催する!**



ライフステージごとに設けている各部署の**サービスをわかりやすく情報発信する!**



課題 2

私たちの交通手段を守るために
～JR草津線利用促進事業～

- 草津線の利便性低下が人口減少に影響し、減便や終電の変更でさらに**利用者が減っている。**
- 定期利用の促進や新規利用者の開拓などを行っているが、**情報発信に課題がある。**



私たちが考えた
アイデア!



現在行っている高校生への通学支援はこれからも続けながら、大学生向けのサポートも考え、若者に「**ずっとこのまちで暮らしたい**」と思ってもらえる環境を整える!



来年秋に滋賀県で開催される“JRグループの大型観光キャンペーン”にあわせて、**草津線に乗りたくなるイベントなどの情報発信をする!**



「わかもの会議」のアイデアをカタチに!



「わかもの会議」で出たアイデアや意見をまとめた提言書が、昨年10月に市長へ提出されました。この提言内容を市で検討し、令和8年度の事業に反映させていただきました。

- | | | |
|---|-----------------------|----------|
| 1 | 若者定住促進事業 | 3,512千円 |
| 2 | 公共交通利用推進事業 | 27,754千円 |
| 3 | 商工事業者人財確保支援事業・工業会運営事業 | 13,042千円 |
| 4 | 滋賀県知事選挙費 | 61,648千円 |

上記の内容も盛り込んだ「令和8年度予算」は次のページへ

甲賀市予算

令和8年度の市の予算が決まりました。
『若者・子育て世代に選ばれるまち』をめざし、新しい豊かさにあふれる『甲賀スタイル』の実現に向けた本年度予算の概要をお知らせします。



甲賀市長 岩永 裕貴

第2次甲賀市総合計画
第3期基本計画の2年目となる
令和8年度は、新しい豊かさの

追求を深め、「甲賀市らしさ」をバックボーンに便利で質の高い暮らしにより生み出された「余白」を、叶えたいライフスタイルで埋めていく、いわゆる「甲賀スタイル」の実現に向け、さらなる取り組みを進めていく、そして本市の次の20年をつくる持続可能な自治体経営を図るための基盤を確かなものとする年と位置づけています。

5つの重点プロジェクト(若者・子育て応援、こどもの可能性無限大、選ばれるエリア形成、企業連携・支援、安全安心のまちづくり)に優先的に取り組み、4つの視点(地域共生社会の実現、公共施設の合理化、未来への投資、市役所力の強化)をもって本市の強みをさらに伸ばし、課題解決に全力で取り組んでまいります。

また、「若者・子育て世代に選ばれるまち」をめざし、市の独自性、競争優位性を明確にしながら、強みを伸ばす行政運営が推進できるよう、4月から新たな組織機構体制でスタートしています。市民の暮らしを最優先に考え、さらなる市政の発展に向け、各種施策の推進にまい進してまいりますので、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般会計

一般会計(市の基本となる会計)

一般会計予算総額は、445億円で、令和7年度当初予算から17.2億円減少し、予算規模は対前年度比▲3.7%となりました。

貴生川駅周辺特区構想に基づき、公民連携による駅周辺の再整備を推進するほか、定住人口や駅を利用する人を増やすために虫生野東部土地区画整理事業に取り組みます。また、4月から公立小学校の給食費を無償化しています。



予算の
ポイント

歳入

空調設備工事の完了等により市債が減少

歳入予算のうち、市税は152億4千万円(昨年度から2千万円の減)で歳入全体の34.3%を占めています。

市債は、中学校体育館等空調設備整備工事や東部学校給食センターの厨房機器等更新工事が終了したことにより減少(昨年度から5億7千万円の減)しています。

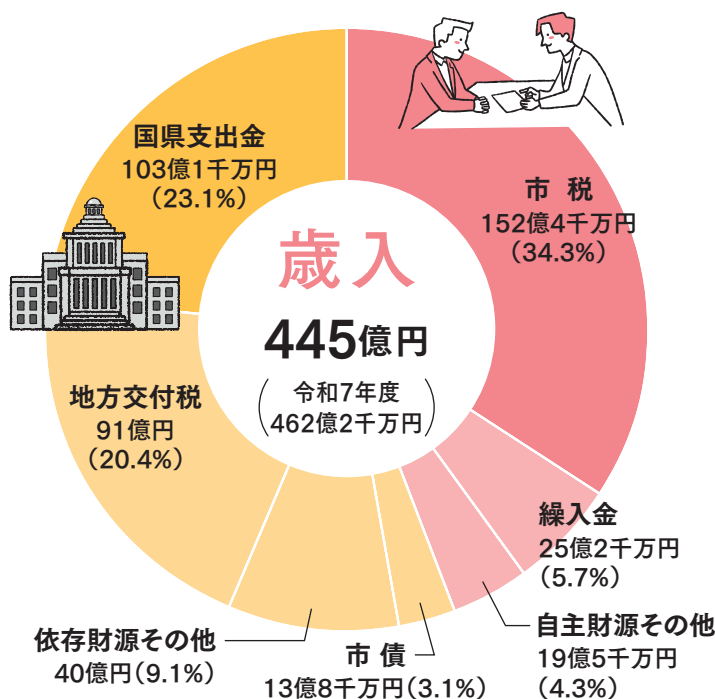
自主財源

市が自主的に収入することができるもの

依存財源

国や県の決定により、市の収入となるもの

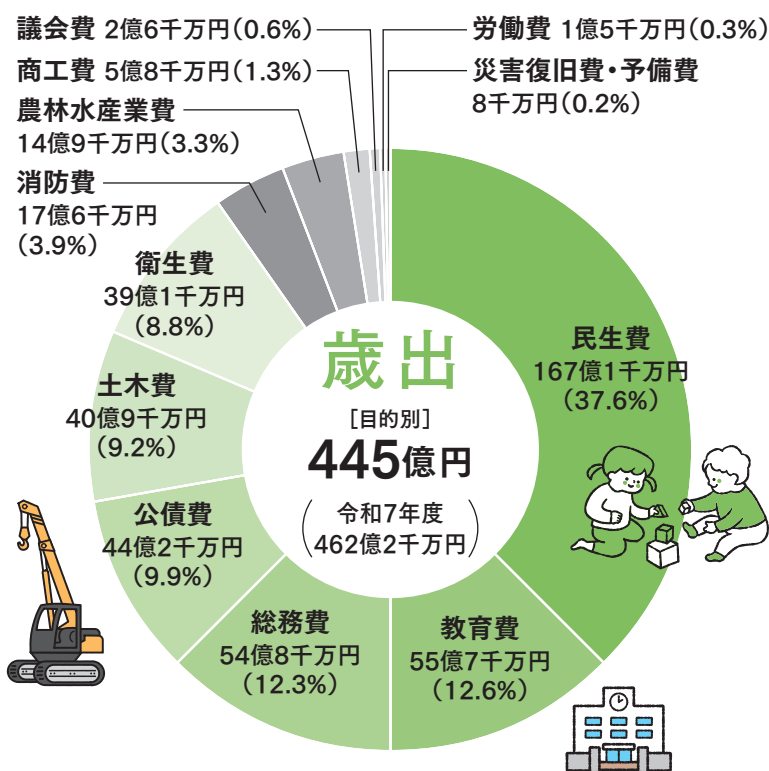
市債も依存財源に該当



特別会計・企業会計

特定の事業を行う「特別会計」と上下水道や病院などの収益事業を行う「企業会計」に分類し、運営しています。

		予算額			
		令和8年度	令和7年度	前年度比較	
特別会計	国民健康保険	86億1,300万円	87億2,000万円	▲1億700万円	
	後期高齢者医療	28億4,000万円	25億5,300万円	+2億8,700万円	
	介護保険	86億7,400万円	84億9,300万円	+1億8,100万円	
	野洲川基幹水利施設管理事業	3,030万円	5,350万円	▲2,320万円	
	小計	201億5,730万円	198億1,950万円	+3億3,780万円	
企業会計	病院事業	収益的支出	9億8,712万円	9億7,012万円	+1,700万円
		資本的支出	7,008万円	1億2,164万円	▲5,156万円
	水道事業	収益的支出	30億7,564万円	28億4,169万円	+2億3,395万円
		資本的支出	22億6,395万円	20億5,828万円	+2億567万円
	診療所事業	収益的支出	8,951万円	2億3,062万円	▲1億4,111万円
		資本的支出	6,205万円	881万円	+5,324万円
	下水道事業	収益的支出	36億6,127万円	35億8,844万円	+7,283万円
		資本的支出	32億7,671万円	34億8,412万円	▲2億741万円
	小計	134億8,632万円	133億372万円	+1億8,260万円	
	合計	336億4,362万円	331億2,323万円	+5億2,039万円	



予算のポイント

歳出

福祉、拠点形成のための施策に重点

昨年度に引き続き、こども・子育てや高齢者、障がい者など、福祉のための費用である民生費の割合が最も多く歳出全体の37.6%を占めています。

また、土木費は、貴生川駅周辺整備事業や虫生野東部土地区画整理事業などの影響により増加(昨年度から6億5千万円の増)しています。



※内訳について単位未満を四捨五入しているため合計が合わないことがあります。

重点目標

若者・子育て世代に選ばれるまち



人口減少対策の3つのテーマ

「子育て・教育」「地域経済」「福祉・介護」に基づいたまちづくりを加速させるため、
“守る”ために“攻める”姿勢で重点目標と5つのプロジェクトに取り組みます。



1 若者・子育て応援プロジェクト

① 子育て応援医療給付事業 1億9,534万円

小中学生が、必要な時期に安心して医療を受けられるよう、市単独制度により保険診療の一部負担金の助成を行い、子育て世代の負担を軽減します。



② 子育て世代包括支援事業 2,756万円

産後ケア事業やリトルママサロンのほか、満1歳になるまで月1回育児用品を届け見守り訪問をする「こうかおむつ便」を行うなど、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を強化します。

③ 移住定住促進事業 1,422万円

人口の市外流出の抑制、Uターンの増加につなげるため、地域プロジェクトマネージャーによる戦略的な情報発信や空き家を活用した移住定住を支援します。

④ 若者定住促進事業 351万円

県の運営する結婚マッチングシステム「しが結」の登録料補助や、気軽な交流イベントを通じ素敵な出会いを応援することで結婚による若者の定住を進めるほか、「30歳のつどい」を開催し若者世代の定住や、Uターンにつなげます。



2 こどもの可能性無限大プロジェクト

① 学校給食事業 4億3,325万円

学校給食に旬の甲賀市食材を使用し食育を推進するとともに、新たに小学校児童の学校給食を無償にします。

② 確かな学力向上事業 小学校1億494万円、中学校1億1,743万円

支援員の配置によるきめ細やかな支援や学力調査から見える課題の分析を行うなど、児童生徒の学びの意欲、やる気の高揚と基礎基本の定着、思考、判断、表現力など確かな学力の向上を図ります。



③ ICT教育環境整備事業 小学校1億173万円、中学校6,657万円

各小・中学校においてタブレットや電子黒板などのICT機器やネットワーク環境の整備を行うことにより、ICT教育を推進し、児童生徒および教職員の情報活用能力の向上を図ります。

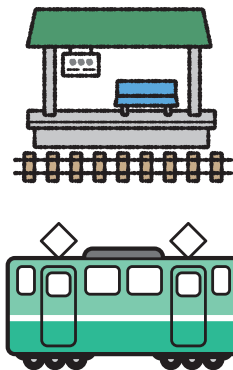
3 選ばれるエリア形成プロジェクト

① 貴生川駅周辺整備事業 4億9,973万円

貴生川駅周辺特区構想に基づき、公民連携によるエリア価値向上や貴生川駅周辺公共施設の再整備により、都市機能の集積を図ります。

② 公共交通利用推進事業 2,775万円

甲賀市地域公共交通計画に基づき、JR草津線をはじめとした公共交通の利用促進と利便性の向上を図ります。



4 企業連携・支援プロジェクト

① 企業立地魅力アップ事業 1,753万円

工業団地等のインフラのきめ細やかな維持管理を実施し、立地企業の操業環境の向上と設備投資を促進します。

② ワーク・ライフ・バランス推進事業 346万円

キャリアアップ・イクボス育成セミナーなど市内企業等への主体的な取り組みの支援を行うことにより、地元就職による人材確保、地域貢献、若者の定住を促進します。



5 安全・安心のまちづくりプロジェクト

① 橋梁長寿命化事業 1億3,000万円

将来的な橋梁の維持管理費縮減のために、橋梁長寿命化修繕計画を作成し、順次橋梁の補修・補強工事を実施して既設道路橋の長寿命化を図ります。

② 多文化共生推進事業 1,563万円

外国人市民の「いつもの暮らし」を支えるため、「外国人相談」「日本語教室」「外国にルーツを持つ子どもの学習支援」を展開するとともに、事業者、地域コミュニティ等との協力関係を構築します。



●問合せ：財政課 財政係 (Tel) 69-2124 (Fax) 63-4561



令和8年度予算の概要は、市ホームページに掲載しています。





「物価高騰対策予算」



エネルギー価格や食料品などの物価高騰が続く中、
甲賀市では「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、
市民の皆さまの暮らしや地域経済を支えるさまざまな事業を実施しています。



水道料金の減免 (物価高騰対応)

1億3,310
万円

物価高騰の影響を受ける市内水道利用者の
水道料金基本料金を市が負担します。

問 上下水道総務課 料金管理係

☎ 69-2223

Fax 69-2295



放課後児童クラブ支援 (おやつ代価格高騰分)

3,351
万円

子育て世帯の経済的負担を増やすことなく、
おやつを提供するため、放課後児童クラブ
を支援します。

問 子育て支援課 子育て支援係

☎ 69-2176

Fax 63-4085



学校給食事業 (物価高騰対応/中学校分)

2,400
万円

子育て世帯の経済的負担を増やすこと
なく、質や量をそのままに、おいしい
給食を提供します。



問 学校教育課 学務給食係

☎ 69-2243

Fax 69-2293

私立保育園 給食材料費等 支援金

1,716
万円

子育て世帯の経済的負担を増やすことなく、
質や量をそのままに、おいしい給食を提供します。

問 保育幼稚園課 管理係

☎ 69-2180

Fax 69-2298



公立保育園 給食事業 (物価高騰対応)

704
万円

甲賀市生活応援クーポン事業 (物価高騰対応)

5億3,700
万円

物価高騰の影響を受ける市民の皆さまの生活を応援するため、市内店舗で
使用できるクーポン券を配布します。

問 総務課 総務統計係 ☎ 69-2291 Fax 63-4086

詳しくは12ページへ



一般乗用旅客 運送事業者支援事業 (物価高騰対応)

1,600
万円

物価高騰の影響を受け、利用者が減る市内タクシー事業者の経営を支援します。

問 交通政策課 交通ネットワーク係

☎ 69-2215

Fax 63-4601



賃上げ環境整備支援事業

980
万円

物価高騰の中、生産性向上や人材育成を通して賃金引上げに取り組む市内中小事業者に対し、国の「助成金」の申請手続きに係る費用を補助します。

問 商工労政課 商工業振興係

☎ 69-2188

Fax 63-4087



申請が必要です!

通学定期券購入支援事業 (物価高騰対応)

2,710
万円

物価高騰の影響を受ける子育て世帯の負担軽減を図るため、通学定期券(9月30日を有効期間に含む6カ月間)を利用されている高校生等(甲賀市民限定)にJR西日本が展開するWESTERポイントをお返しすることで、家計を支援します。

申請期間 令和9年1月31日(日)まで

問 申 交通政策課 交通ネットワーク係 ☎ 69-2215 Fax 63-4601



詳しくはこちら



申請が必要です!

物価高騰対策住宅リフォーム補助金

3,626
万円

原材料価格高騰の影響を受けている市内建設事業者の受注拡大を図り、地域経済の活性化と技術の承継につなげるため、市民が行う住宅リフォーム工事費の一部を補助します。

区分	補助率	補助金額
一般	補助対象工事費の 20%	上限10万円
空き家		上限50万円

空き家は、事業用として活用する
リフォーム工事のみ対象



※過去に住宅リフォーム補助金を受けた方も対象です。

《補助対象工事》

以下①～③のすべてに該当する工事

- ①市内に本社がある事業者へ発注するリフォーム工事
- ②令和8年4月1日～令和9年3月31日までに着手、かつ完了可能な工事
- ③補助対象工事費が10万円以上の工事

※市の他の制度の補助工事は対象外です。(国、県の補助金との併用可)

※外構工事等、補助対象外となる工事があります。

申請期間

4月17日(金)～令和9年3月31日(水)

※工事完了後、補助要件をすべて満たしてからの申請になります。

※先着順での受付です。予算額に達し次第、申込受付を終了します。

問 申 商工労政課 商工業振興係 ☎ 69-2188 Fax 63-4087

必要書類など
詳しくはこちら



甲賀市生活応援クーポン券2026 を開始します！

物価高騰の影響を受ける市民の皆さまの暮らしを応援するため、
甲賀市生活応援クーポン券2026(以下「クーポン券」)を
全ての市民の皆さんに配布します。

利用期間

6月1日(月)～12月31日(木)

※期間終了後は利用できません。

配布時期

5月中旬以降

世帯主様あてにゆうパックで順次発送します。お手元に届くまでに時間を要する場合がありますが、ご了承ください。

取扱店舗

クーポン券に同封する取扱店舗一覧もしくは市ホームページをご確認ください。

※取扱店舗の追加があった場合は、ホームページに掲載する取扱店舗一覧を更新します。

対象者

- 4月1日時点で本市に住民登録がある方
- 4月2日から11月30日の間に本市に転入された方、出生された方

配布クーポン券

お一人につき、下記のクーポン券を1冊ずつ(合計6,000円分)配布します。

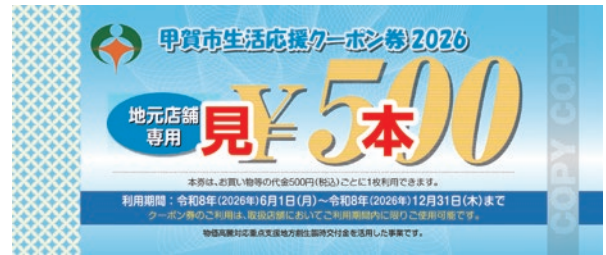
オレンジクーポン券(全店共通)

1冊(500円券×6枚)3,000円



青色クーポン券(地元店舗専用)

1冊(500円券×6枚)3,000円



クーポン券の使用範囲



全店共通クーポン券

地元店舗専用
クーポン券



全店共通クーポン券

※地元店舗とは市内に本店を有する店舗及び甲賀市商工会会員店舗等です。

問 総務課 総務統計係 ☎ 69-2291 ☎ 63-4086

詳しくはこちら



下水道使用料の見直しに向けた答申が提出されました



問 上下水道総務課 経営係 ☎ 69-2222 ☎ 69-2295

下水道使用料の改定についての答申が、甲賀市下水道審議会から市へ3月12日に提出されました。

この答申は、昨年8月に審議会へ諮問し、7回にわたる慎重な審議の結果、取りまとめられたものです。

市では、この答申を受けて更なる経営改善に努めます。



答申提出の様子

[答申内容について詳しくはこちら](#)



下水道事業の状況と課題

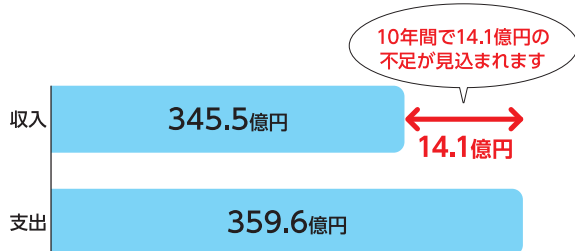
施設の老朽化と維持管理費の増加

下水道施設の老朽化や物価高騰、県へ支払う下水道処理費用の大幅な改定により、維持管理費用が増える見込みです。

使用料収入の減少

人口減少などの影響で、下水道使用料の収入は今後減少していく見込みです。また、令和7年度から10年間の収支計画では、14.1億円の不足が見込まれます。

下水を処理するための費用とその財源 (令和7年度～令和16年度)



下水道事業は、必要な経費を使用料などの収入でまかなう「独立採算」が原則です。そのため、税金（一般会計）からの穴埋めに頼らず、自らまかなう経営が求められています。また、将来にわたり安定したサービスを提供するためには、老朽化した施設の更新に備えた財源の確保も必要となります。

そのため、今後の使用料見直しも含め、計画的かつ効率的な事業運営を進めていく必要があります。

令和9年4月1日採用 甲賀市職員採用試験のお知らせ

問 申 人事課 人事係 ☎ 69-2122 ☎ 63-4086

応募期限 6月1日(月)まで 試験日 (第1次試験)6月6日(土)

- 募集職種
- 上級事務職
 - 上級技術職
 - 保育士 等

※受験案内や申込方法は、市ホームページをご確認ください。

※他職種の採用試験がある場合も、市ホームページでお知らせします。



市ホームページ

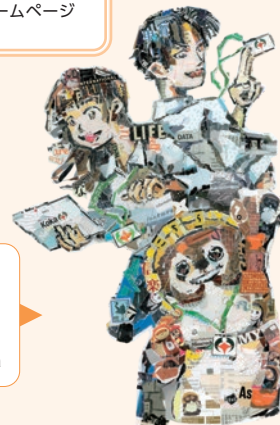


作者

コラージュアーティスト
とのいけこた
(甲賀市在住)



@tonoike_kota



認知症の人とその家族を地域で支える! 「こうか市チームオレンジ」始動



詳しくはこちら



問 高齢福祉課 地域包括支援係 ☎ 69-2175 ☎ 63-4085

3月23日に、こうか市チームオレンジ登録証の交付式が行われました。チームオレンジの活動を通じて、仲間として一緒に活動ができる関係性を築き、認知症があってもなくても同じ社会で共に生きる「地域共生社会」をめざします。



こうか市チームオレンジ登録団体の皆さん▶

- 登録団体**
- チームこうか(市内全域)
 - チーム和来^{わらい}や(甲南町)
 - オレンジカフェしがらき(信楽町)

Q こうか市チームオレンジとは?

認知症サポーター養成講座やステップアップ研修を受講したオレンジサポーターを中心に構成されたボランティアグループの総称です。



どんなことをしているの?

- 認知症の人を含む地域での支援活動(認知症カフェの運営や手伝い、地域でのボランティア活動等)
- 認知症の人やその家族の個別支援活動(日常の見守り、外出の際の付き添い、話し相手等)
- 認知症に関する啓発活動(認知症月間の啓発活動等)

など

国民健康保険に加入の40歳以上の皆さまへ 人間ドック検診費助成のご案内



詳しくはこちら



問 保険年金課 国保年金係 ☎ 69-2141 ☎ 63-4618

助成対象

次のすべてに該当する方

- ① 国民健康保険にご加入の40歳以上74歳以下の方(今年度75歳になられる方は、受診日時点で74歳であれば該当)
- ② 国民健康保険税の滞納がない世帯の方
- ③ 令和9年3月31日(水)までに、特定健診の検査項目をすべて含んだ人間ドックを受診される方
- ④ 同じ年度内に特定健診を受診されない方(年度内にどちらかのみ受診できます)

助成額

検診費用の1/2(上限2万円。ただし脳ドックを含む検診を受診される場合は上限3万円。)

※助成は一年度中に1回限りです。

申請手順

①事前申請

持ち物 国民健康保険の加入資格が確認できるもの(資格確認書)・甲賀市特定健診の受診券

オンラインでも事前申請できます



②交付申請

持ち物 国民健康保険の加入資格が確認できるもの(資格確認書)・検診結果・領収書・振込口座の確認できるもの

申請場所 保険年金課、各地域市民センター

6月からの集団健診(検診)のお知らせ



問 〈がん検診・基本健診〉健康医療政策課 健康増進係 ☎ 69-2168 ☎ 63-4085
 〈特定健診〉保険年金課 国保年金係 ☎ 69-2141 ☎ 63-4618



6月から7月の集団健診(検診)について、下記のとおり実施します。定期的に健診(検診)を受診し、病気を予防しましょう。詳しくは、健診(検診)カレンダーをご確認ください。

健診(検診)カレンダー



予約方法 電話またはWEB予約(大腸がん検診・特定健診は予約不要)

※回線が混み合う場合がございますので、WEB予約をご活用ください。

	電話予約	WEB予約
がん検診:40歳以上 (子宮頸がんは30歳以上)	専用ダイヤル: 0120-504-686 予約期間:5月11日(月)~15日(金) 受付時間:9:00~17:00	予約期間:5月11日(月)~22日(金) WEB予約はこちら  24時間対応
特定健診:40歳~64歳	集団健診は予約不要です。下記の日程で直接会場へお越しください。	
基本健診:16歳~39歳		予約期間:通年 WEB予約はこちら  24時間対応

健診(検診)日程

実施日	会場	受付時間				
		胃・肺がん	大腸がん	乳・子宮頸がん	基本健診	特定健診
		9:00~9:15(男性) 9:30~9:45(男性) 10:00~10:15(女性) 10:30~10:45(女性)	容器販売・配布 9:00~11:00	13:30~13:45 14:00~14:15 14:30~14:45	9:00~10:45	9:00~11:00
6月4日(木)	土山 開発センター	●	●	●	●	●
6月10日(水)	甲南地域 市民センター	●	●	●		●
6月11日(木)		●	●			●
6月13日(土)	水口 保健センター	レディースデー(女性のみ) 受付時間9:00~10:45 すべてのがん検診を午前中に実施します。託児はありません。				
6月16日(火)	信楽 開発センター	●	●	●	●	●
6月20日(土)	水口 保健センター	●	●	●		●
6月24日(水)	碧水ホール	●	●	●		
6月25日(木)	水口 保健センター	●	●	●		●
6月26日(金)		●	●	●	● 18:00~19:15	● 18:00~19:15
7月1日(水)		●	●	●		●
7月2日(木)		●	●		● 9:30~10:45*	
7月16日(木)	かふか 生涯学習館	●	●	●	●	●

*7月2日(木)の基本健診は、ママ健診と同日に実施します。

地震などに備え、耐震への補助金制度をご活用ください!



詳しくはこちら



制度・支援

問 申 住宅建築課 建築係 ☎ 69-2213 ☎ 63-4601

耐震改修等補助事業

昭和56年5月31日以前に建てられた木造住宅の耐震性を上げる為の改修にかかる費用を補助します。

補助金額 上限115万円

対象者 耐震診断の結果、上部構造評点を0.7以上に上げる改修工事を行う木造住宅の所有者

募集件数 1件 **申請期間** 6月30日(火)まで

※募集件数を越えた場合、抽選会を7月6日(月)11時に行います。

工事費の一時負担を軽減できる「代理受領制度」をご活用ください。



ブロック塀等撤去補助事業

道路に面し地震等で倒壊した場合、通行に支障の出るおそれがあるブロック塀等の撤去にかかる費用を補助します。

補助金額 上限10万円

対象者 撤去するブロック塀等の所有者で令和9年2月26日(金)までに撤去工事を完了する見込みのある方

募集件数 先着3件程度

申請期間 5月15日(金)～令和9年1月29日(金)

※すでに工事に着手しているものは対象外です。

※予算額に達した場合、受付期間内であっても募集を終了します。

無料耐震診断・補強案作成事業

昭和56年5月31日以前に建てられた木造住宅の耐震診断と補強案作成を行います。

対象者 木造住宅の所有者

募集件数 3件 **申請期間** 6月30日(火)まで

※募集件数を越えた場合、抽選会を7月6日(月)10時に行います。

※各事業の申込書は、市ホームページに掲載しているほか、住宅建築課でお渡します。



空き家に関する困りごと、お気軽にご相談ください!



制度・支援

問 住宅建築課 空家対策係 ☎ 69-2214 ☎ 63-4601

空き家をお持ちの皆さん、こんなお悩みはありませんか？

相続できていない空き家は
どうすればいいの？

空き家を貸すには
どうすればいいの？

空き家と一緒に
農地も手放したい!

など

空き家を放置すると、老朽化や近隣トラブルにつながることもあり、早めの対応が大切です。市では、空き家の活用方法などの相談を受け付けています。

空き家に関する
困りごとがあったら、
お気軽にご相談ください!



空き家の相談窓口
問合せフォーム